

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 158号
3月12日(火)

愛日地区優勝(一年生大会)

“みんなでつかみ取った優勝!”

まさにこの言葉がぴったりです。コート上で必死にボールを拾い・つなぎ・打ち込んだ1年生のがんばりはもちろん、少しでも1年生を勇気づけようと声援を送ったり、気持ちよく試合に臨めるようにサポートをしたりしてくれた2年生も含め、東中学校女子バレー部全員の頑張りがあったからこそその優勝だと思います。

ケガ人が出てしまった時、見ている人の中には「東中もここまでだな・・・」と思った人もいたはずですが、しかし、結果や試合内容、試合中の表情や応援などを見ると、ケガの後からこそが『東中の本領(底力)』を発揮していました。まさに“チームが一つ”になっていました。「**みんなの想いを背負おう!**」、試合前や試合中に先生が一年生に投げかけ続けた言葉です。一年生がここまで頑張り、愛日大会の舞台に立てた大きな要因の一つに、仲間や先輩、これまで高め合ってきた他校の選手や保護者の方など、たくさんの人たちの支えや応援があります。自分のためだけでなく、「誰かの想いを背負って・・・」という場面は、長い人生の中でもそれほどあることではありません。自分のためにバレーボールをするのが一番です。

しかし、心のどこかに「応援してくれる人・支えてくれる人」の存在・想いをもっていることも大切なことだと思います。



【チームとしての課題】

- 集中力の持続
- 悪循環を断ち切る

チームとしての課題は同じです。一度切れてしまった集中力は、なかなか元に戻すことはできません。チーム全体が良い状態のまま進めることは、なかなかありません。悪い流れをいかに早く食い止めるかが重要です。どちらも練習の積み重ねこそが必要です。



【保護者の皆さんへ】

先日の一年生大会の時には、たくさんの方に応援に来ていただきありがとうございました。また大会の進行上、予定よりも遅い時間の解散にご迷惑をおかけしました。



大会は“優勝”という最高の形で終わることができました。一年生の頑張りはもちろんですが、今日に至るまでの2年生の指導・サポートがあったからこそその優勝だと思います。大会中も、どこのチームの2年生よりも大きな声で2階から声援を送り続けてくれました。チーム一丸となって勝ち取れたことが、顧問としてはとてもうれしく感じました。